

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成25年度事業)

事業の概要		平成5年		根拠法令・例規等	備前市路線バス補助金交付要綱
事業開始年度				問	担当課(室)
総合計画	大項目	基本目標	05	生活環境政策「快適・活力」	まち営業課
中項目	基本施策	08	快適な生活が送れるまち	職・氏名	定住推進係長 久保山 仁也
小項目	施策	36	公共交通の確保	電 話	0 8 6 9 - 6 4 - 2 2 2 5
事務事業名	03 路線バス維持事業			このシート作成に要した時間	
				2.0 時間	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	交通弱者(児童・生徒、高齢者、マイカーを持たない人)、沿線地域住民	
目的(何のために)	児童、生徒、高齢者等の交通手段を持たない人が、通勤・通学・通院・買物等のために移動する手段を確保するため。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市民生活の手段として必要なバス路線の運行を維持し、多くの市民に利用してもらおう。	

事業の実績		Do	
細事業名	事業の説明	優先度	
バス運行形態調査検討事務	利用実態の調査、効率的運行形態の検討、交通計画策定など。	◎	
路線バス運行補助金	市内路線バスの運行を行う日生運輸㈱に対し、事業経費の赤字補助を実施する。	◎	
路線バス停留所等整備管理業務	路線バスの停留所等施設の整備、適正な維持管理を行う。	△	
目的を達成するため実施した事業	片上・柘原(周匝)間バス事業負担金	○	
	2市2町で構成された片上鉄道沿線地域活性化対策協議会において片上から周匝(平成23年9月までは柘原)間の路線維持のため路線バス事業者に赤字相当額を補助。この路線は、県補助事業の対象路線となっている。		
	片鉄沿線地域活性化対策協議会運営事務	○	
	2市2町で構成された片上鉄道沿線地域活性化対策協議会において、主に片鉄沿線バスの運行補助について検討している。		

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	75,047	75,450	78,308
	必要人員	人	0.47人	0.57人	0.35人
	事業費	千円	4,676	5,996	3,668
	事業費	千円	79,723	81,446	81,976
財源	国庫支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
	市(その他)	千円			
一般財源	千円	79,723	81,446	81,976	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
結果指標	利用者	年間利用者数	231,399	161,497	144,343
	結果指標	対前年比	%	69.8%	89.4%
	活動コスト	円	79,723,000	81,446,000	81,976,000
	単位当たりコスト	円	345	504	568

事業の成果		平成25年度事業				
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
対前年利用率	目標値(A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	実績値(B)	98.6%	70%	89%	到達目標値	
	達成率(B/A)	98.6%	69.8%	89.37%	105.0%	
成果指標設定の考え方・式や説明						
対前年の乗客人数の割合 前年と比較し減少している乗客者の維持・増加を目標とする。利用しやすいバス・利便性の向上を図る。						

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民参画度		有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

進行年度(H26年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了 ○
説明	市内路線バスについては、引き続き、事業補助を行い現路線の運行維持を行いながら、地域公共交通計画に基づく必要な改善を実施する。

総合評価		Action	
市内の路線バスの利用者は年々減少している。赤字額は年々増加しており、効率的な路線運行と利用者増に向けた取り組みが急務となっている。今後は、市民が積極的に路線バスを利用し、運行を維持していくという当事者としてのマイバス意識の醸成が必要である。片鉄沿線バスについては沿線地域の活性化を促進する役割を担っているものの、年々利用者が減少しており、そのありかたについての検討が必要である。	総合評価	B	
		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	

平成27年度の方向性・取組目標		Action	
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了 ○		
取組目標	平成25年度に策定した備前市地域公共交通計画(改訂版)に基づき、具体的事業計画を作成し、持続可能な公共交通システム構築を目指す。		

事業の意図する成果となる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな